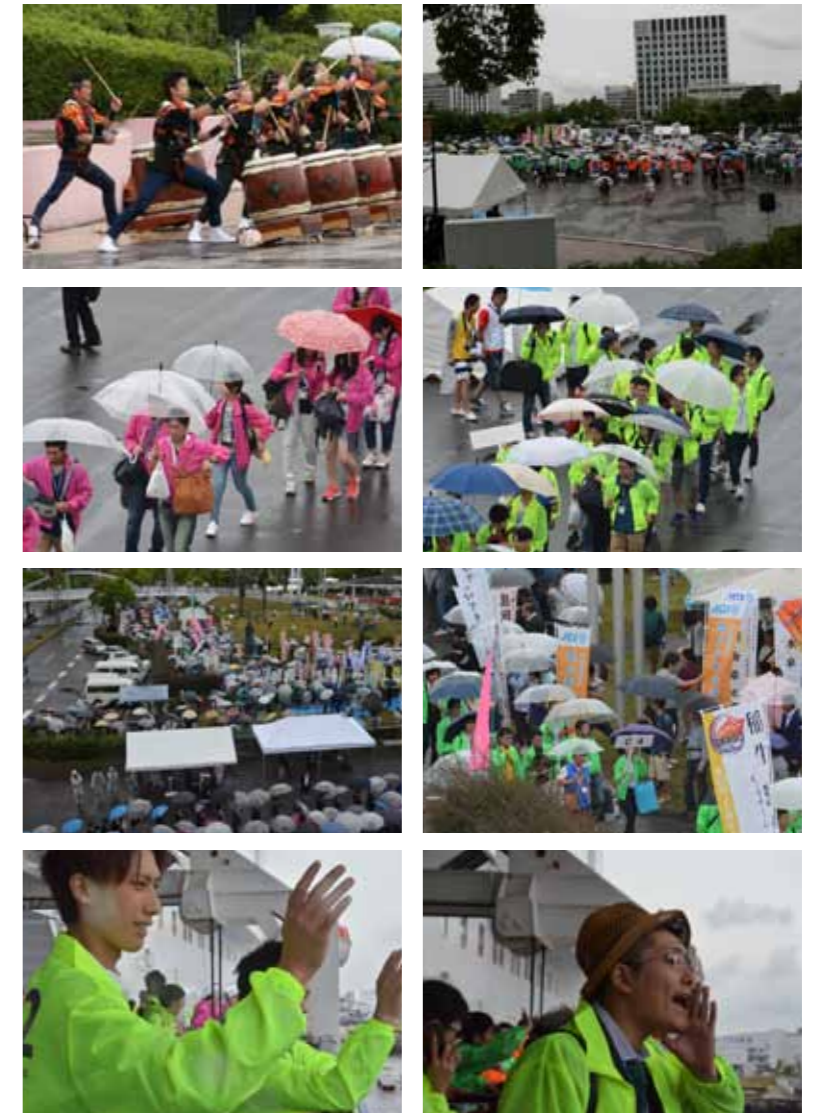


出航!



出港式



小雨振る中でしたが、多くの仲間に見守られ
出港式が行われました。行ってきます!



団長 前田 創史
(公益社団法人 各務原青年会議所)

ようこそ「とうかい号」へ! 団員皆様のご乗船心より感謝するとともに、そのご英断に敬意を表します。1974年から長きに亘り脈々と受け継がれてきた「とうかい号」は、洋上という非日常的な空間の中、自立心や協調性を持つ青年の育成を続けてきました。第43回本船においても、志高き先輩諸兄によってつながられてきた日本人の「心」を感じていただく機会を創出します。必ず皆様にとって一生かけがえがない経験と出会いをここにお約束いたします。共に未知の世界へと突き進んでいきましょう。



本部長 橋本 尚史
(公益社団法人 岐阜青年会議所)

ようこそ人生を変える8日間の航海へ。結団式のときに話をさせて頂いたことを覚えているでしょうか。人生を変えるためにはまず「心」から。その「心」とは、これまでの人生の中で作り上げてきた固定観念や価値観であり、それらにもとづいた日々の決断によって人生は作られています。「とうかい号」の研修やチームでの活動を通して、自分自身の良さや日本人の大切にしてきた「心」に気づくことで素晴らしい価値観を手に入れてください。



講師紹介



小倉講師

「因縁」という言葉をご存じですか？

「因」は直接的原因。「縁」は間接的原因のことです。

例えば大学合格の「因」は「自分が頑張った」こと。しかし、その陰には必ず「縁」があります。恩師に出会って数学が好きになった。余裕がない両親が受験させてくれた、シリアではなく日本に生まれた……など。自分の力だけで生きているつもりになるのではなく、「縁」に感謝し、活かせる人になる。それが本物のリーダーです。

皆さんは「とうかい号」という「縁」に恵まれました。

「面倒くさいな……」と「縁」をむだにするのではなく最大限に活かしていただきたいと思います。

もちろん、私もこの「縁」を大切にしたいと思います。



宮本講師

今の自分を作ったのは自分です。

自分を変えるのも自分自身です。

研修では、以下3点の自己変革のベースを構築します。

- ① 過去に原因を求める生き方から抜け出して、未来志向で新しい人生を切り拓く生き方にシフトする。
- ② 自分が本当に目指す目標を知り、そこに向かって歩いて行ける方法を身につける。
- ③ 新しい生き方を選んだあとも、以前の惰性で生きてきた自分に戻らないためのケアを怠らない。



寺岡講師

第43回JC青年の船「とうかい号」によるご乗船くださいました。

乗船のきっかけはみなさんそれぞれですが、「縁」があったからこそ乗船です。

是非、この「縁」を大切に参りましょう。多くの方々に支えられ、たくさんのお祈りに守られての航海であり、素晴らしい「学び」の機会です。

幸せな人生を生きていくための「学び」がたくさん詰まっています。

ともに学び、ともに楽しんで、思い出多い有意義な旅にしましょう。

この「とうかい号」での8日間が、乗船されたみな様にとってかけがえのない時間になることを心よりお祈り申し上げます。



結団式・全体オリエンテーション

名古屋市公会堂にて全乗船者が初めて一堂に集う、結団式・全体オリエンテーションが4月29日に行われました。チームメイトとの初顔合わせでは自己紹介に続き乗船中の役割決めが行われました。結団式では本部役員、講師の紹介があり、乗船への期待感が一気に高まりました。



ブロックオリエンテーション

 <p>愛知</p>	<p>2016年4月3日(日) 国際センター</p>	 <p>三重</p>	<p>2016年4月10日(日) 津センターパレス</p>
 <p>静岡</p>	<p>2016年3月27日(日) 袋井市市民体育館</p>	 <p>岐阜</p>	<p>2016年3月27日(日) 瑞浪市立瑞浪小学校</p>

船内広報誌「ONE STEP」& 掲示板「CHANGE THE FUTURE」活用法

- 乗船中は1名につき1枚ずつ本誌、船内広報誌「ONE STEP」をお届けします。前日の活動を振り返ることができ、さらには当日のスケジュールなどリアルタイムな情報をお届けします。
- また8Fメインホール前に、掲示板「CHANGE THE FUTURE」も設置させていただきますので、併せて情報交換の場としてご活用ください。
- 一般団員の皆様が研修を通じて喜怒哀楽に溢れる自然な姿を中心に掲載することで下船後に振り返ってもその瞬間を思い起こすことができる広報誌になればと存じます。
- 本誌や掲示板にはQRコードが印刷してあります。下船後にアクセスして頂くと、フォトストレージサービスに画像データとして取り込んだ船内広報誌「ONE STEP」や掲示板「CHANGE THE FUTURE」を、いつでもどこでも楽しんで頂きたいと思っております。

